

多久市長  
よこおとしひこ  
横尾 俊彦



国スポに向けて、遠的・近的の両種目ができる「多久市緑が丘弓道場」を整備。過去には多久高校にクライミングウォールの設置に奔走し、今回「九州クライミングベースSAGA」を県が設置する際にも、提言など尽力した。

場で練習されている様子を拝見してきましたので、ぜひ整えたいという思いがありました。国スポを機に整備することから出張先などの周辺にある弓道場を頻繁に視察しましたし、田原会長ともたびたび足を運びましたよね。

**田原** そうですね。弓道場新設に関わるみなさんとともに宮崎県都市や高知県、山口県などにも行きました。クライミングウォールも県の方で新設されましたよね。

**宮原** はい。当初は仮設となる計画もありましたが、横尾市長から県に強く掛け合っていたこともあり、多久高校に国スポで行うリードとポルダの2種目と、もう一つの種目であるスピードの3つのウォールを新設できました。

**市長** これまで多久高校のウォールで練習に励んだ生徒たちがアジアで優勝し、また世界でも良い成績を残すなど、とにかく素晴らしい選手がどんどん出てきたので、ぜひ後押ししたいという思いがありました。また、スポーツクライミングは競技自体も進歩し続け、今までのウォールだけでは競技開催が難しかったんですね。

**宮原** そうなんです。新たなウォールは今の競技

形態に対応できるので、本当に感謝しています。それどころか幅が広く、高さも十分。間違いなく日本一で、世界でも有数の素晴らしいです。日本山岳・スポーツクライミング協会公認の拠点施設にもなっているので、日本トップレベルの選手たちも練習や合宿に訪れますよ。

**田原** 弓道でもおかげさまで全国規模の大会が開催できるようになり、国スポのリハーサル大会として開催した「第70回全日本勤労者弓道選手権大会」では県内外問わず多くの来場者がありました。出場者も観客も、みなさん素晴らしい弓道場だと大変喜ばれていましたよ。

**市長** こうして年齢も競技歴もさまざまな人たちが新施設に集ってスポーツに親しめるのは良いことですね。多久市内にあるそれぞれの施設を拠点に、新たな交流が生まれる機運も高まってきたように思います。

## 見どころを押さえ 磨き抜かれた技を体感！

**市長** 栃木国体や鹿児島国体で両競技を観戦しました。どれも見応えがあつて、思わずやってみた



くなりまずね！スポーツクライミングは、重力を自在に操るような登り方に魅了されました。また、リードでは15メートルと高いこともあり、途中片手で休憩されますよね。あれがすごくて。

**宮原** 私も選手たちの様子を見て「よくこんなに登れるな！」と感心することが多々あります。一瞬で傾斜のかかった高い壁を登るので、初めて見る人にとっても面白いと思いますよ。あとは、どのホールドを取ってどんなルートで登るかなど、登り方を見るとより一層競技を楽しめます。

**市長** 登るためにどういう動きをされるか、一瞬一瞬が見逃せませんよね。弓道についても、過去の国体やこの弓道場で行ったリハーサル大会を見て、1人4射のうち全てを的中される選手の多さに驚きました。非常にハイレベルな戦いですね。

**田原** はい。国スポにはブロック予選を勝ち上がらないと出場できませんから、より優れた選手だけが試合の舞台上がれます。鹿児島国体でも外したら負けという緊張の場面が続くなど、大変見応えのある試合でした。

**市長** どんな場面でも精神を落ち着かせられることが肝要ですね。心を整え、自分の弓道の型を磨き、それを弓にのせて飛ばす熟練の技は見ていてとても清々しいです。長い歴史で培われた一